

本牧ふ頭の市有地利用について

1 報道内容の要旨

平成 18 年度の市の包括外部監査において、港運会社の単身寮が立地する市有地の利用について見直しが求められ、解体・撤去する方向で協議を進めていた。しかしながら、現在も解体・撤去が行われておらず、使用料の減免も継続されている。

2 包括外部監査指摘事項（平成 18 年度）

「現状の単身寮の利用状況を見る限り、減免理由である福利厚生施設としての利用状況についての検証を実施すべき時期にきている。また、貴重な本牧ふ頭内の用地の有効利用という観点からも見直しが必要である。」

3 これまでの対応

平成 18 年度に指摘を受けた後、当該企業と協議を重ね、平成 21 年度を目途に建物を解体・撤去するというところで調整を行いました。

その後のリーマンショックによる未曾有の経済情勢の悪化があり、解体・撤去されていませんが、現在でも友好港（大連港）からの研修生を受け入れるための施設として利用されていることもあり、港湾厚生施設として毎年申請に基づき減免を行ってきました。

4 今後の対応について

解体・撤去に向けた協議をできる限り早く当該企業と進めるとともに、跡地利用についての調整を進めてまいります。

当該物件の概要等

この物件は、昭和43年の建設当時、港湾労働者向けの住宅が不足していた中で、国からの要請を受け、港湾運送事業者に本市の所有地を貸し付け、整備されたものです。

1 物件の概要

- | | |
|------------|--------------|
| (1) 物件の所在 | 横浜市中区本牧ふ頭1-1 |
| (2) 敷地の面積 | 3,387平方メートル |
| (3) 建物の概要 | 地上5階建て 146室 |
| (4) 許可開始時期 | 昭和43年1月1日 |

2 使用料等（年額）

- | | |
|---------|---------------------------------|
| (1) 使用料 | 11,380,320円 (@280円×3,387㎡×12か月) |
| (2) 減免額 | 8,535,240円 (75%減免) |
| (3) 徴収額 | 2,845,080円 |

3 位置図

